



ご 換 拶

同窓会長 中村伸枝（2期）

桜のつぼみの膨らみ、鳥のさえずりが耳に心地よいこの頃です。会員の皆様におかれましては、新年度を迎え、新たなお気持ちでご活躍のことと思います。

千葉大学は、国立大学法人千葉大学として1年を経過しましたが、まだまだ把握できていないことも多いなか、新年度を迎えて毎日が忙しく過ぎていきます。

千葉大学看護学部は、今年、30周年を迎えます。看護学部同窓会では、今春27期生が卒業し、学部卒業の会員2200名余に加え、学部を卒業していない大学院修了生約50名を加えて、確実に輪が広がっています。その一方で、同窓会への入会や活動が、若い期では停滞してきているという懸念もあり、30周年を機に同窓会の活動を振り返り、会員相互のつながりを深めていくことが大切であると思います。また、個人情報流出への対応など安全面での取り組みも強化する必要に迫られています。このような中で看護学部同窓会が新たな10年間に向けてどのように発展していけるのか、皆様と一緒に考えていければと思います。

看護学部同窓会が企画する看護学部30周年記念行事は、9月23日行われます。詳細は後のページをご覧ください。一人でも多くの同窓生がご参加いただけることを、心よりお待ちしております。また、4年目を迎える千葉大学校友会総会も10月に開催予定ですので、ご都合の付く方は、ぜひいらしてくださいようお願いいたします。

…看護学部の近況報告…

同窓会顧問 学部長 石垣和子

桜もほころびかけ、先ごろまた新たな同窓生が胸をふくらませて看護職として巣立っていきました。全国でご活躍の先輩の皆様、新人をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、私こと石垣和子は平成17年度から2年間、引き続き学部長という職を仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。そこで、同窓会顧問として、近頃の看護学部や千葉大学の様子をご報告いたします。

まず、学生たちの主催する事業として亥鼻祭が復活し、昨年秋には復活2回目の亥鼻祭がにぎやかに開催されました。これは医学部学生と合同で行うもので、場所は看護学部の建物が主に使われています。平成17年度もきっと行なわれると思いますので11月はじめ頃に亥鼻キャンパスにいらしてみてください。

最近の看護学部教員たちは「忙しい、忙しい」が口癖です。看護学部のほとんどの教員が、昨年ご紹介した21世紀COEプログラム「日本文化型看護学の創出・国際発信拠点」の研究をしていることや、法人化の影響で目標管理型の仕事が奨励され、目標の明確化や、評価方法の開発などを行っていることが関係していると思われます。忙しいけれどもその甲斐のある成果も期待でき、COE研究の一環として大学院生（博士後期課程）が国際学会発表にどんどん出かけていること、千葉大学看護学部ならではの、「日本文化型」看護学を示すことができそうな兆しを感じられることなどが挙げられます。平成17年度はCOE国際シンポジウムを2月20日頃に行う予定ですのでお忘れなく。

平成17年9月22～23日には30周年記念事業を予定しています。これは同窓会と看護学部が連携して行います。千葉大学の中では一番若い学部ですが、看護学の発展に尽くしてきた看護学部の存在は社会的にはとても大きなものであることをもっとアピールしていきたいと思っています。

近年、高度専門職業人育成の必要性が折に触れて叫ばれていますね。千葉大学にも法化大学院ができましたが、看護学部では専門看護師教育分野が増え、母性看護学、小児看護学でも博士前期課程でのCNS教育が始まっています。これとは別に管理的立場にある看護職向けのシステム管理学専攻という修士課程もできて3年が過ぎました。皆さん是非母校の大学院でもう一度学んでみませんか。

最後になりましたが、皆様のますますのご活躍をお祈りしております。



平成 16 年度 同窓会企画報告

平成 16 年度の同窓会企画は、岩手県立大学看護学部教授の横田碧先生をお迎えして、講演会とグループ交流会を開催いたしました。

講演会：「千葉大学看護学部の原点を振り返ろう ～横田碧先生の思い出おしゃべり～」

日 時：平成 16 年 6 月 26 日（土）13:50～16:30

場 所：千葉大学看護学部 2 階 講義・実習室



横田先生は、「人間は時間の流れの中で発達してものである」とし、横田先生自身がどのような時代の中で歩んでこられたかを【千葉大学看護学部と私－思い出おしゃべり－】という資料にまとめられ、個人史と千葉大学看護学部史がどのように絡まり、そのとき看護関連社会の動きはどのようなであったかを対比されながら、その時々のお出来事や思い出をお話しして下さいました。

横田先生の講演後は、3 グループに分かれて、グループ交流会を開催し、先生の講演を聞いた感想や、当時学生としてどのような気持ちで講義を受けていたか、就職後実際にどのような形で学んだことが生かされたかなどについて話し合いました。最後に横田先生を囲みながら、グループ交流会で話し合われた内容を発表し、全体での意見交換などを行いました。

参加していただいた同窓生 37 名の方からは、横田先生の講演を聞きながら、学生時代を懐かしく思い出しつつ、「時間」と「人」と「人」の関わりの中で、今の自分が存在していることを確かめ、これからどうしていけばいいのかを考える良い刺激やエネルギーをうけたという感想をいただきました。

また、グループ交流会でも、各年代の同窓生それぞれの体験や思いを聞くことができ、看護学部で学んだことを生かしながらか歩んでいることを実感することができたという感想をいただくことができました。



短い時間ではありましたが、看護学部創立 30 周年を目前にして、有意義なひとときを過ごすことができました。

横田先生、参加して頂きました同窓生の皆様、本当にありがとうございました。
心よりお礼申し上げます。

企画委員一同



平成 16 年度総会報告

平成 16 年 6 月 26 日（土）、午後 1 時から、看護学部講義・実習室にて同窓会総会を開催しました。

総会では、運営委員会から大学院修了生および学部卒の新入会員の入会状況、名簿委員会からは名簿の発行についてと今後個人票の返送の利便性をよくすることを検討していること、たより委員会からはたよりの内容について、30 周年記念委員会からは会員の皆様に行ったアンケート結果を参考に企画を検討していくことなどが報告されました。名簿作成についてのアンケート結果は、不要という意見と毎年必要という意見の両方がありました。毎年必要だが、経済的に難しいならば 2 年に 1 回でもよいという意見もありました。名簿が売買され、電話でマンションなどの購入をしつこく迫られるなどの被害の報告があり、今後検討していくこととなりました。

本年度の活動方針は「30 周年を前に同窓会の活動を振り返り、会員相互の交流を活発にし充実を図る」を継続することが提案され承認されました。平成 16 年度予算は審議され、過半数をもって可決されました。

2004年度亥鼻祭 ありがとうございました



2004年11月2日、3日（祝）亥鼻祭が開催され、無事に終了した事を報告させていただきます。

今年度はテーマを“COLORS～亥鼻を知ってください～”とし、「勉学に励み、幅広い活動をしているたくさん
の学生を亥鼻祭というひとつのベクトルに向け、学生それぞれの個性や能力といったカラーを存分に発揮で
きる場をつくりたい。また、亥鼻での活動、魅力を広く社会に発信したい」と取り組んで参りました。

2004年度亥鼻祭では、当日は両日とも天候に恵まれ、合わせて約4860人の来客がありました。

今年度は平日を含んでの開催であり、来場数が心配されていましたが予想以上の人で亥鼻キャンパス
が活気で満ち溢れました。幅広い年齢層の方々に亥鼻キャンパスの魅力を伝えられたのでは、と委員
一同喜んでおります。卒業生の皆様には、多大な御支援と御協力を頂き感謝の気持ちで一杯です。

こうして亥鼻祭が復活2年目を歩むことができたのも皆様のおかげです。本当に有難うございました。

2005年度亥鼻祭実行委員会発足のお知らせ

昨年も大盛況に幕を閉じた亥鼻祭でしたが、今年度も3月に2005年度亥鼻祭実行委員会を発足い
たしました。亥鼻キャンパスの学生が一丸となって、地域社会との交流の場、医療系キャンパスならで
はの学園祭を目指して今年も活動していこうと思っております。開催日は昨年と同様に11月1日～4
日の間で、1～2日の開催を考えています。開催日・企画内容につきましては同窓会総会にて正式にお
知らせいたします。同窓生の皆様のご来場をお待ちしております。

ご寄付のお願い

今年度も充実した祭を開催すると共に、今後続けて開催していくために、皆様にご寄付をお願いし
たいと考えております。今後の「亥鼻」を応援して頂き、何分の配慮を賜りご寄付していただければ幸
いと存じます。寄付金は一口3000円で何口でも結構でございます。下記の口座番号まで、郵便振込
みでお願いいたします。

郵便振込み	口座番号 00160-5-480746 亥鼻祭実行委員会
	〒260-0856 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

2005年度亥鼻祭実行委員会
委員長